

第14回議会報告会報告書

～高校生との意見交換会 2020～

令和2年4月

広聴広報特別委員会

はじめに

本市議会における議会報告会は、議会基本条例に基づき初めて実施した平成24年8月を皮切りに、今回で第14回目の開催となった。

今回の議会報告会は、市内に4校ある全ての県立高等学校の生徒を対象にして実施した。目的は、高校生に議会への関心を持ってもらうことをはじめ、議員を身近に感じていただくためである。今回は、高校生が参加対象者となるため、本事業に親しみを持ちやすいように、議会報告会の名称を高校生との意見交換会2020とした。これまでも広聴広報特別委員会としては、若年層の議会の取組への参加は課題であったが、この度、委員の熱心な交渉の甲斐があって、各高校長の御理解、御協力を賜れたことで、開催の実現に至ったことは、議会としても大きな収穫であった。

当日までの準備は、広聴広報特別委員会が行い、当日の議員のファシリテーターに関しては、参加希望をする議員を募り実施をした。また、ファシリテーターを行った議員は、過日開催したファシリテーション研修を受講した議員であり、当日進行も円滑であった。実際に高校生からのアンケート回答においても、意見交換会は好評であり、議会としてのイメージも大きなインパクトを与えることができた議会報告会となった。

那須塩原市議会報告会実施要綱第11条の規定により、議会報告会報告書を本書のとおり提出する。

目次

はじめに	1
1 第14回議会報告会実施概要	2
2 主な意見及び要望	6
3 マニフェスト	17
4 第14回議会報告会のまとめと考察	18
5 資料	21

1 第14回議会報告会実施概要

実施体制について

- 本事業は、臨時の議会報告会という位置づけで行った。
- 広聴広報特別委員会、参加を希望する議員、選挙管理委員会で実施した。
- 若年層向けの選挙啓発のため、選挙管理委員会との共催となった。

広報活動について

- 各学校へ御案内を送付し、生徒に周知していただいた。

内容について

全体の構成について

- 議会報告会としての位置づけであったため、通常の議会報告会同様に二部構成で行った。

議会報告について

- 議会報告では、市議会になじみのない生徒を対象に行うことを鑑み、議会の仕組みとして、二元代表制や、議会の役割について説明を行い、その後に定例会の報告を行った。

意見交換について

- 意見交換は、委員会にて協議し設定した、「私たちが住むまちに、私たちが将来できること」をテーマとし、1グループ5人程度で班を作り、議員がファシリテーターとなって、ワークショップ形式で意見の交換を行った。

模擬投票について

- 若年層向けの選挙啓発のため、模擬投票を取り入れた。
- 意見交換で出た意見を、班ごとに一つの「マニフェスト」に取りまとめ、一番良いと思ったマニフェストに投票を行った。
- 機材や投票用紙は、選挙管理委員会が準備した。

時間配分について

- 議会報告会 10分
- 意見交換会 40分
- 模擬投票 25分
- 挨拶、休憩、アンケート記入等 15分

意見交換テーマについて

- 意見交換のテーマは、「私たちが住むまちに、私たちが将来できること」とした。
- テーマは、参加対象者が高校生であることを鑑み、身近に感じられるようなものにするを狙って設定した。

開催日時等

那須清峰高等学校

開催日時	令和2年2月10日（月）午後2時35分～午後4時30分			
参加人数	39人（男性29人 女性10人）			
参加議員	委員長（広聴広報）	齊藤 誠之	副委員長（広聴広報）	山形 紀弘
	委員（広聴広報）	益子 丈弘	委員（広聴広報）	中里 康寛
	委員（広聴広報）	星野 健二	委員（広聴広報）	森本 彰伸
	委員（広聴広報）	星 宏子	委員（広聴広報）	平山 武
	委員（広聴広報）	齋藤 寿一	議長	吉成 伸一
	副議長	松田 寛人	議運長	相馬 剛
	参加希望議員	小島 耕一	参加希望議員	佐藤 一則
	参加希望議員	鈴木 伸彦	参加希望議員	金子 哲也
	参加希望議員	山本はるひ		

那須拓陽高等学校

開催日時	令和2年2月21日(金)午後4時～午後6時			
参加人数	44人 (男性12人 女性32人)			
参加議員	委員長(広聴広報)	齊藤 誠之	副委員長(広聴広報)	山形 紀弘
	委員(広聴広報)	益子 丈弘	委員(広聴広報)	中里 康寛
	委員(広聴広報)	星野 健二	委員(広聴広報)	森本 彰伸
	委員(広聴広報)	星 宏子	委員(広聴広報)	平山 武
	委員(広聴広報)	齋藤 寿一	議長	吉成 伸一
	議運長	相馬 剛	参加希望議員	小島 耕一
	参加希望議員	佐藤 一則	参加希望議員	鈴木 伸彦
	参加希望議員	金子 哲也		

黒磯南高等学校

開催日時	令和2年2月25日(火)午後3時50分～午後5時30分			
参加人数	34人 (男性19人 女性15人)			
参加議員	委員長(広聴広報)	齊藤 誠之	副委員長(広聴広報)	山形 紀弘
	委員(広聴広報)	益子 丈弘	委員(広聴広報)	中里 康寛
	委員(広聴広報)	星野 健二	委員(広聴広報)	森本 彰伸
	委員(広聴広報)	星 宏子	委員(広聴広報)	平山 武
	委員(広聴広報)	齋藤 寿一	議長	吉成 伸一
	議運長	相馬 剛	参加希望議員	佐藤 一則
	参加希望議員	高久 好一	参加希望議員	山本 はるひ
	参加希望議員	中村 芳隆		

黒磯高等学校

開催日時	令和2年2月26日(水) 午後3時40分～午後5時10分			
参加人数	35人 (男性18人 女性17人)			
参加議員	委員長(広聴広報)	齊藤 誠之	副委員長(広聴広報)	山形 紀弘
	委員(広聴広報)	益子 丈弘	委員(広聴広報)	中里 康寛
	委員(広聴広報)	星野 健二	委員(広聴広報)	森本 彰伸
	委員(広聴広報)	星 宏子	委員(広聴広報)	平山 武
	委員(広聴広報)	齋藤 寿一	議長	吉成 伸一
	副議長	松田 寛人	議運長	相馬 剛
	参加希望議員	佐藤 一則	参加希望議員	眞壁 俊郎
	参加希望議員	中村 芳隆		

学校の選定及び参加者数について

学校の選定について

- まもなく選挙権を持つことになる生徒を対象に実施するのが効果的と判断し、高校生と実施することとした。
- 市内にある4つの高校と議会報告会の実施について協議したところ、全ての高校から前向きな返事をいただいたので、4校と実施することができた。

参加者数について

- 各高校とも生徒会を中心に、1年生から3年生までの参加があり、合計152名となった。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
開催年月	H24.8	H25.11	H26.5	H26.11	H27.5	H27.11	H28.5	H28.11	H29.11	H30.5
参加者数	220	93	89	91	97	60	70	94	62	66

	第11回	第12回	第13回	第14回
開催年月	H30.11	R元.6	R元.11	R2.2
参加者数	78	※23	70	152

※第12回は議会フォーラムを1回開催したのみ

2 主な意見及び要望

環境について

自然環境について

- (1) 空気がきれいで自然環境が多い場所。
- (2) 景色がきれいなまち。
- (3) 自然豊かな場所を守る。
- (4) 生物の多様化を目指すために環境保全を行いたい。
- (5) 植物を大切にする。
- (6) 緑を増やす。
- (7) 川とか森とかをもっときれいにする。
- (8) 自然が豊かで住みやすいまち。
- (9) 環境に優しいまち。

エネルギーについて

- (1) ガソリンスタンドなどに EV 自動車の充電スポットを作る。
- (2) 水・電気の節約を心がける。
- (3) 自給自足のまち。
- (4) 持続可能なまち。
- (5) エコなまち。

ごみについて

- (1) ごみの量を減らしたい。
- (2) ごみ箱を増やしたい。
- (3) ごみ拾いや花植など身の回りの環境をきれいにする。
- (4) ごみを減らすために地域でごみを拾う活動を行いたい。
- (5) ごみを集めるところが、網だけのところがあり、カラスなどに荒らされてしまっているため、箱のようなものにしてほしい。
- (6) 公民館の清掃・ゴミ拾い・駅の清掃・道路の清掃。
- (7) ごみを拾い綺麗なまちにする。

安心・安全について

災害対策について

- (1) 災害に強いまちにしたい。
- (2) 避難場所を作る。
- (3) ハザードマップを配布する。

暮らしの安全対策について

- (1) 信号のない横断歩道で必ず車がとまるまち。
- (2) 夜道が危険なので街灯を増やしてほしい。
- (3) 那須塩原駅周辺を明るくする。
- (4) 交通誘導をする。
- (5) 正しい交通マナーの確認。
- (6) 安全に外で遊べる空間。
- (7) 危険な場所に信号を設置する。
- (8) 安全運転をする。
- (9) 横断歩道や歩行者用の信号を増やす。

福祉について

障害者福祉について

- (1) バリアフリーでやさしいまちづくり。
- (2) 階段には手摺りをつけるなどのバリアフリーを進めてほしい。
- (3) 視覚障害者やお年寄りがもっと住みやすい街になるために講習会を行いたい。
- (4) 車いすの方でも開けるように引違い戸を増やす。

高齢者福祉について

- (1) 老人ホームや介護施設を増やす。
- (2) 老人にやさしいまちづくり。
- (3) 高齢者が多いので高齢者向けの病院（施設）を設立する。
- (4) 高齢者の人たちがもっと活躍できる機会や施設をつくりたい。
- (5) 高齢者と若い人の交流をおこなう。
- (6) お年寄りに優しくする。

- (7) 高齢者の方たちと子どもたちが交流できるイベントを行う。
- (8) 高齢者への気配り。
- (9) 高齢者と学生の交流。

健康増進について

- (1) 医療機関を増やす。

まちづくりについて

都市計画について

- (1) 那須塩原駅周辺のお店を増やす。
- (2) 駅周辺を活性化する。
- (3) 黒磯、那須塩原駅周辺をもっと発展させて欲しい。
- (4) 駅前にカフェや雑貨屋を作り活性化させる。
- (5) 駅前をもっと賑やかにできたらいい。
- (6) 駅の駐輪場を広くしてほしい。
- (7) 原付の駐車場が欲しい。
- (8) 駅近くに娯楽施設をつくる。
- (9) 栃木県といえばこれという有名な建物が無い。
- (10) 地価の安さを利用して大学生がたくさん住んでもらえる安い住宅をつくる。
- (11) 空き家を減らして、その分を保育園や若者、高齢者の憩いの場を作ってほしい。
- (12) 空き家を活用し、田舎暮らし体験などを行う。
- (13) 空き家や資源の利活用。
- (14) 空き家を活用し、商店街を復活させて、多世帯の居場所も作る。
- (15) 大きな公園を作ってほしい。
- (16) 跡地や廃校を活用しイベントや出店。
- (17) 使われなくなった校舎をリメイクして若者が好きそうな場所をつくる。

公共交通について

- (1) 電車の本数を増やしてほしい。
- (2) バス電車の本数が少ない。
- (3) 新しい移動手段を作る。

- (4) 駅の活性化。
- (5) バスなどの交通の便をよくする。
- (6) タクシーの定期を作る。
- (7) 公共交通機関の改善・向上。
- (8) 観光地などへの無料シャトルバスの運行。
- (9) 交通機関を発達（充実）させて、住みやすい地域にしたい。
- (10) レンタルサイクルがあると良い。
- (11) 通学の時間の電車を増やす。

道路について

- (1) 道の綺麗なまちをつくる。
- (2) 狭い道、でこぼこした道をもっと通りやすくしてほしい。
- (3) 歩道を整備する。
- (4) 車が走りやすい。
- (5) 急な段差や、草が伸びていて自転車で走行しづらいところがあるので、改善してほしい。
- (6) 自転車専用道路がほしい。
- (7) サイクリングロードがほしい。
- (8) 高速道路を利用して運転者が寄りやすい施設を作る。

公共施設について

- (1) 図書館の学習室を増やす。
- (2) 学習できる施設を増やし学力向上を目指す。
- (3) 勉強できる場所の閉館時間を遅くする。
- (4) 学生が手軽に行ける場所を作る。
- (5) 便利な場所が少ないと思う。
- (6) 那須塩原駅近くに、大きな図書館がほしい。
- (7) 誰でも行くことができる、交流センターを作る。
- (8) Wi-Fi スポットを増やす。
- (9) 公園や図書館などの公共施設をつくる。
- (10) 道の駅にインパクトを。
- (11) 道の駅を作る。
- (12) プロスポーツを観戦できる施設がほしい。

- (13)運動ができる場所を作りたい。
- (14)もっとスポーツができる場所を作る。
- (15)那須塩原駅前の工場跡のソーラーパネルの予定地に運動公園を作る。
- (16)環境を活かした施設を設立してほしい。
- (17)大きいイベントドームがほしい。

市民活動について

- (1) 若者がまちづくりに参加できるまち。
- (2) 高校生が動きやすい環境をつくる。
- (3) 青年の集まりを作り、ボランティアや商品 PR の活動を広く行う。
- (4) ボランティアに積極的に参加。
- (5) 自分から働きかける。
- (6) すでに行われているボランティアを知らない人がいるので、PR する。
- (7) 小学生を対象にボランティアについての学習会を開く。
- (8) 課題として、コーディネートの団体と支援をする人を広げていけば、地域を知っていくことができる。
- (9) 市民同士が交流するお祭りか地域でレクリエーションを増やす。
- (10)地域行事に積極的に参加する。
- (11)地域の人と交流。
- (12)地域交流を促進する。
- (13)高校生と地域のつながり。
- (14)地域とのつながりを増やす。
- (15)学生と地域の人の交流の場をつくる。
- (16)地区ごとで、意見交換する場所を増やす。
- (17)あいさつ運動をする。

情報の発信について

- (1) 栃木の良さをネットでアピールする。
- (2) 自分たちの住む地域の良いところのチラシやパンフレットを作る。
- (3) ツイッター・インスタで地域の情報を発信する。
- (4) 拓陽高校のインスタを作る。
- (5) SNS 活用する。
- (6) 広報誌の対象を広げる。

- (7) インスタグラムを開設する。
- (8) 住んでいるところのポスターを作る。
- (9) 情報を発信する。
- (10) 住民の意見を聞ける場所を増やして情報を収集する。

産業について

農林業について

- (1) 農家を増やす。
- (2) 野菜の朝市を開催する。
- (3) 農業体験を行う。
- (4) 田んぼの水路管理をしてほしい。
- (5) 循環型農業に積極的に取り組む。
- (6) 農薬を使わないで、農業ができるところが増えたらうれしい。

畜産業について

- (1) 牛乳を使い、新商品を作る。
- (2) 那須塩原市は、牛乳の生産が本州一なのに、そこをもっと PR しないともったいないと思う。
- (3) 牛乳に関連した特産品で人を呼び込む。
- (4) 那須の牛乳を使ったレストラン。
- (5) 牛乳のPR活動をもっと行いたい。
- (6) 市役所牛乳サーバーを作って生乳生産量本州1位をもっとアピールする。

商工業について

- (1) 過疎化を防ぐべく、都会などで人気の建物を建てる。
- (2) 小さい子から高齢の方まで楽しめる娯楽施設がほしい。
- (3) もっといろいろなお店を開き、たくさんの人に立ち寄ってもらえるまち。
- (4) 商店街を大々的に PR する。
- (5) 有名な食べ物を作る。
- (6) 商店街を活性化する。
- (7) グルメなまちにする。
- (8) キスマイルの売り場を増やし、認知度を上げる。

- (9) ドラッグストア以外の新しいお店ができてほしい。
- (10) 地域ならではの会社を作る。
- (11) 地元の特産品をつくる。
- (12) 直売所を多くつくる。
- (13) インスタ映えやネット受けの良いお店が出たり入ったりする場所がある。
- (14) 地域企業と若者が共同で特産品などを開発する。
- (15) 起業を応援（ひきこもりがちな人に特化した職業に就かせるため）。
- (16) ご当地グルメをつくる。
- (17) 企業を増やす。
- (18) 特産品のブランド化。
- (19) 古着屋が欲しい。
- (20) 色んなお店を作ってほしい。
- (21) ディズニーランドや、USJ を誘致する。
- (22) ライブハウスをつくる。
- (23) テーマパークを作る。
- (24) ショッピングセンターを増やす。
- (25) 商業施設を充実させる。
- (26) スーパー・ショッピングモールなどを増やす。
- (27) 遊ぶ場所がほしい（ラウンドワン）。
- (28) 学生が楽しめるような施設を作る（ショッピングモールなど）。
- (29) 大型ショッピングモールをつくる。
- (30) ドームやアリーナをつくる。
- (31) 動物園や遊園地をつくる。

観光業について

- (1) 色んな人が来るような観光地が増えること。
- (2) 駅に足湯を作る。
- (3) 観光できるところを増やしてほしい。
- (4) 娯楽施設を増やし、外国人観光客を増やす。
- (5) 田んぼアート・花壇アートで外見的に印象を与える。
- (6) 塩原・板室温泉街の盛り上げりに役立てる。
- (7) 観光地を積極的に PR する。

- (8) 自分たちが住むまちの特産を活かして商品を作る。
- (9) 観光地のバリアフリー。
- (10) 商業施設を建てて観光客を増やす。
- (11) 自然を生かしたインスタ映えスポット。
- (12) 観光名所を増やす。
- (13) もみじを植える。
- (14) 地元を他県やいろんな国々にアピールするためのポスターをつくる。
- (15) まちの有名な食べ物をさらに多くの人に知ってもらえるように宣伝する。
- (16) 道の駅やPA、駅、大型ショッピングモール（アウトレットなど）にまちの特産品を売り出し、県外の人に那須塩原市ならではの物をPRする。
- (17) 那須塩原市の特産品を全国に知ってもらう。
- (18) PR動画を作成し特産物や温泉を紹介する。
- (19) 温泉カフェを作る。
- (20) インスタ映えを増やして若者の観光客を増やす。
- (21) 田んぼの畑の景色がきれいだからそれを活かす。
- (22) 昔ながらの駄菓子屋さんや本屋さんをのこし観光客に来てもらう。
- (23) 温泉に来てもらうために若い人が楽しいと思えるような場所を作る。
- (24) 写真映えする場所をつくる。
- (25) 温泉の近くに遊べる場所をつくる。
- (26) 娯楽施設が増えると観光客も増えると思う。
- (27) 観光客が集まりやすいイベントをつくる。
- (28) 観光PRをする（インスタグラム）。

雇用環境について

- (1) 大学を終えて帰ってくる人のための働く場所をつくる。
- (2) 地元で働き住民の役に立つ仕事をする。
- (3) 正規雇用を増やす。
- (4) 東京とかに行かず市内で働く。
- (5) 働ける場所を増やす。
- (6) 地元で就職する。
- (7) 地元で働けるように企業を誘致する。
- (8) 人にしかできない仕事を探す。

- (9) 今以上に IT 企業が発達したまち。
- (10) 職場（実際の仕事）を見学する。
- (11) 自分たちの住む地域で就職する。
- (12) ブラックな会社を無くしたい。

子育てについて

子育て環境について

- (1) 子どもを育てやすく、社会福祉を充実させる。
- (2) 無料の託児所を作る。
- (3) 子どもたちが安全に遊べるアスレチックパーク。
- (4) 保育士専門的な学校を増やす。
- (5) 幼稚園・保育園・託児所の充実（将来子育てするときに働きながら子育てができる）。
- (6) 子どもを育てている人たちの間で意見を交換できるようにする。
- (7) 子どもを産んだ人に社会保障の充実をさせる。
- (8) 家族連れに優しくあるため、子どもが喜ぶ場所、バリアフリーで高齢者にも優しい場所を作る。
- (9) 幼稚園、保育園を増やす。
- (10) 保育園に行き読み聞かせなどを行う。
- (11) 子育て補助金を作る。
- (12) 子育てしやすいまちづくり。
- (13) 過疎化が進んでいるので、出生率を高くする。

教育について

学校教育環境について

- (1) 平均学力の向上を目指す。
- (2) 農作物を活かして教育施設における食育を行う。
- (3) 子どもに野菜を教える。
- (4) ボランティア体験。
- (5) 田んぼの学校などに参加する。
- (6) 義務教育の給食無償化。
- (7) 地元の歴史を教育する。

- (8) 給食費無料。
- (9) 給食での地産地消。

芸術・文化について

- (1) 地域の文化を受け継ぐ。

その他

イベントについて

- (1) イベントを増やす。
- (2) 若い人が集まるイベントを行う（音楽フェスなど）。
- (3) 広い土地を利用してドローンなどを使うイベントを行う。
- (4) イベントをたくさん開催する。
- (5) 若者が集まりやすいイベントを作る。
- (6) 地元企画のツアーを作る。
- (7) 気軽に行こうと思えるような行事やイベントを作る。

国際交流について

- (1) 外国人に優しいまちにする。
- (2) 外国人に対応できる施設を作り、外国人が安心して来られる、暮らせる町
- (3) 外国人と交流できるような場所を設ける。
- (4) 国際交流の機会を増やす。
- (5) オーストリアとの交流が150周年を迎えたので、市民のみんなにも伝統を知ってもらおう。

その他

- (1) 土地が安いから良い。
- (2) 殺処分を減らす。
- (3) 税金をしっかりと納める。
- (4) パワハラを無くす。
- (5) いじめや自殺をなくす。
- (6) 募金をする。
- (7) 自分で楽しい空間をつくる。

- (8) 時間を増やして情報共有。
- (9) ふるさと納税。
- (10) 大山の記念館でのカフェを開く回数を増やしたい。
- (11) 拓陽でつくった食品をいろいろな人に食べてもらう。
- (12) 食品ロスを活かしてオリジナルの新製品を開発し地域活性化に努めること。
- (13) まず自分のまちを知る。
- (14) 意見交換会を身近に開催する。
- (15) 地元を活気付ける。
- (16) 人口減少を防ぐ。
- (17) 若者たくさんのまち。
- (18) 少子高齢化の改善。
- (19) 音楽のまち。
- (20) 那須塩原らしい人が集まる場所を作る。
- (21) 他県と交流し自分たちの良さを伝えると同時に他県の良いところも学ぶ。
- (22) おもしろい自販機をまちに設置する。
- (23) 若い人のための政策を考える。
- (24) 新しいことだけでなく、昔からあるものも活かしていく。
- (25) 自然を活かすイベントをつくる。
- (26) E スポーツで活性化。
- (27) ご当地アイドルを作る。
- (28) 地域で生産された物を購入使用する。
- (29) 包括的なサードプレイス作り。
- (30) 移住してきてくれた人へ名産品などをプレゼント。
- (31) 若い人が住みやすい街。
- (32) 一人一人の将来の夢実現に向けて交流の場を増やしたい。
- (33) 協力し合える人が多いまち。
- (34) コミュニケーションの「輪」を作る。

3 マニフェスト

那須清峰高等学校

- (A) SNS を活用する
- (B) USJ やライブができるドーム等作ります
- (C) SNS を使って那須塩原市の情報発信
- (D) 道の駅をたくさん作る
- (E) 高齢者が住みやすいバリアフリーのまち・子供から高齢者が皆で使える運動場やアスレチックを増やして交流の場にする
- (F) 那須塩原駅周辺の活性化
- (G) バス・電車の本数を増やす
- (H) 夢が叶うまちおこし

那須拓陽高等学校

- (A) 情報発信の工夫、SNS（那須塩原市のオフィシャルアカウント）をつくり分かりやすくお届けします。
- (B) 企業誘致
- (C) 高齢者と子育て世代にやさしいまちづくり
- (D) 地元農産物のブランド化に向けて乳製品のPRを行う
- (E) PR動画作成
- (F) 食べ物のインスタ映え、那須塩原のアピール
- (G) 食品ロスをゼロにしよう
- (H) 田んぼや野菜（畑）の景色がきれいだからそれを活かす
- (I) 市役所に牛乳サーバーをつくる
- (J) 市の特産品（キスミル・乳製品など）をSNSなどを活用し、情報発信し定住促進につなげる

黒磯南高等学校

- (A) 仲間を増やし、情報共有をし、自分たちで楽しい空間を作る
- (B) 観光振興の充実（年代を問わない娯楽施設を増やす、牛乳の本州一の生産をPRし、牛乳に関連した奇抜な特産品を作る）
- (C) 企業、農業を活性化させ、雇用を増やし、若人を増やす
- (D) 小学生を対象に、学習会を開く

- (E) 繋がりあう景色
- (F) 在住地域で就職
- (G) 那須塩原市の特産品を全国に PR するシステムを作る
- (H) いちごとミルクで子どもを（温泉と自然で若者を）

黒磯高等学校

- (A) 自分たちのまちを知る
 - 意見交換を身近に
 - SNS で情報発信
- (B) 企業誘致をして人口減少対策と地域の活性化
- (C) 那須塩原市の特産品を開発して全国世界に PR していく
- (D) 地域の繋がりを深める
- (E) 駅の周りの活性化
- (F) ラウンドワンをつくる
- (G) テーマパークをつくる
- (H) 子育てしやすいまちづくり

4 第14回議会報告会のまとめと考察

参加者の皆様からいただいた意見及び要望について

今回の議会報告会でいただいた意見・要望等については、議会だより（5月5日号）に掲載を予定している。各委員会で取扱いについて協議をし、意見や要望については、政策の提言等で生かせるものについては、常任委員会での対応を検討していただけるようにしていきたい。

アンケート結果について

全体の評価について

全体の評価について、「とても良かった」、「良かった」と回答した方が99%であった。普段の生活には直接の関わりのない市議会との議会報告会を、新鮮な機会ととらえ本事業を体験してもらえたと考えられる。

実施時間について

「ちょうど良い」、「やや短かった」という回答で、86%となった。90分間での実施を予定していたが、実際は約120分かかった。そういった状況の中で、このような結果となったのは、内容を議会報告、意見交換、模擬投票の3部に分け、テンポよく進めていったため、参加者が飽きずに取り組めた結果であると考えられる。しかしながら、「普通の授業時間が50分間であるので、疲れた。」といった声もあったので、バランスを考えながら実施時間を設定したい。

テーマについて

- テーマ設定について、9割がよかったという回答であった。「あまり良くなかった」という回答には、「テーマが大きすぎて考えがまとまらなかった。」というものがあつた。より詳細なテーマに絞って設定するという選択肢も考慮に入れたい。
- 参加者からのテーマの提案としては、高校生のネットモラルの法律について、地球温暖化防止対策についてなどがあつた。

模擬投票について

- 回答では、実際に体験することができてよかった等の声が多かつた。投票対象を自分たちで設定するところから、開票して結果を出すところまでの内容であつたので、臨場感をもって体験させることができたと考える。
- 選挙権を持つようになったら選挙に行くかという設問では、97%の参加者が「必ず行く」、「行こうと思う」という回答であつた。

考察

今回の高校生との意見交換会を行えたことは、議会にとっても、将来の主権者となる高校生にとっても、有意義な時間であったと思われる。理由としては、高校生に直接、議会の仕組みの紹介や、議員との話し合いの場を設けたことで、議員の人となりを感じていただけたからである。その結果として、高校生には、より大きな関心を持たせることができた。今後も、高校生が議会に興味を持っていただけるよう、工夫を凝らして内容の充実に努めていき、継続して開催していきたい。

今回は投票率の向上を図るために、様々な取組みを実施している選挙管理委員会との共催で、模擬投票を行った。その流れは、テーブルごとに意見交換で出された沢山の意見をマニフェストとして一項目にまとめ、発表したのちに、選挙管理委員会が投票の説明を行い、生徒自身に各テーブルから出た意見で一番良いと思われる公約に投票をするという流れで行った。また、最後には選挙管理委員会から、投票に関する啓発ビデオの視聴と、選挙における投票という、有権者に与えられる権利の行使の説明をしていただいたことで、生徒自身には、選挙に行く必要性をも理解していただいたと考える。この模擬投票に関しては、高校生のみならず、市民が対象でも実施可能であると考えられるので、委員会にて検証をし、今後の報告会につなげていきたいと考える。

これまでも議会報告会については、市民が気軽に参加できるような取組みを考え実行してきたが、第一部の議会報告の部分においては、様々な意見をいただいております。特に報告の内容がわかりづらいとの意見があるため、さらなる工夫が求められる。また、議会基本条例の見直しをおこない、議会報告の内容を定例会報告のみにとらわれず、議会に関することすべてを対象にして、報告の内容の充実に努める必要があると考える。また、意見交換を重視した取組みにもシフトできるような形にしていければと考える。

最後に、参加された高校生をはじめ、御協力をいただいた関係者に感謝を申し上げます、報告とする。

5 資料

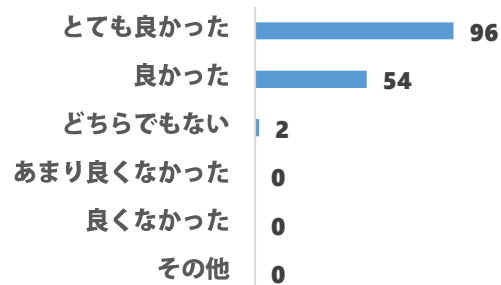
アンケート回収数

○アンケート回収数 152枚（回収率 100%）

アンケート結果（自由記述欄は一部抜粋）

問1 本日実施した意見交換会2020(全体)について、あなたの評価に最も近い項目に印をつけてください。

項目	回答数	割合
とても良かった	96	63%
良かった	54	36%
どちらでもない	2	1%
あまり良くなかった	0	0%
良くなかった	0	0%
その他	0	0%



○「とても良かった」、「よかった」の理由

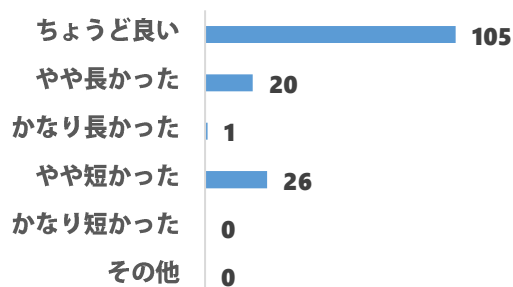
- (1) 今まで聞いたことはあったが知らなかった。選挙について知ることができたから。
- (2) 市長と議会の関係を知れた。
- (3) 普段あまりしない話や選挙の大切さを知れたから。
- (4) 議会の方とたくさん話し合えて、いい経験になったから。

○「どちらでもない」の理由

- (1) 自分の出した意見について深く話すことができたが、たくさん意見を出せなかったから。

問2 実施時間（90分）について、あなたの評価に最も近い項目に印をつけてください。

項目	回答数	割合
ちょうど良い	105	69%
やや長かった	20	13%
かなり長かった	1	1%
やや短かった	26	17%
かなり短かった	0	0%
その他	0	0%



○「ちょうど良い」の理由

- (1) 堅苦しくなく、和気あいあいと意見交換ができ、あっという間だったから。
- (2) 長過ぎず、短過ぎず、集中力が欠けることがなかったから。
- (3) それぞれの班の発表もちゃんと聞いて、自分なりの答えが出せたから。

○「やや長かった」、「かなり長かった」の理由

- (1) 話し合いで上手くまとまらず、リーダーの発表が素晴らしく何とかいったが、ちょっと足りなかった。
- (2) 普通の授業が50分なので疲れた。
- (3) もう少し簡略化できたと思う

○「やや短かった」の理由

- (1) もう少しゆっくり話をしたかったし、聞きたかった。
- (2) 考える時間をもう少し設けてもらいたかった。
- (3) もう少し深くやりたかった。
- (4) 思っていたよりもすぐ終わったし、少しバタバタしていたから。

問3 市議会議員の印象はいかがでしたか？ご自由にお書きください。

- (1) 気さくな方で、より良く話し合いを進められるようにして下さいました。
- (2) 話し上手で、とても親切に話しかけてくれて良かった。
- (3) 意外とフレンドリーだった。優しい方々だった。
- (4) 生徒の意見をととても尊重してくれて良い印象を抱いた。
- (5) 地域のために真剣な思いを持っているということが伝わった。

問4 本日のテーマについて、あなたの評価に最も近い項目に印をつけ、理由もあればお書きください。

項目	回答数	割合
とても良かった	85	56%
良かった	62	41%
あまり良くなかった	4	3%
全く良くなかった	0	0%
その他	0	0%

○「とても良かった」、「良かった」の理由

- (1) 将来について考えるのは良いと思った。
- (2) 未来に向けて考えられたので良かった。
- (3) 自分の住んでいる地域について改めて考えることができたから。

○「あまり良くなかった」の理由

- (1) テーマがアバウト過ぎて考えがまとまらなかった。
- (2) 説明・まとめがあまりできなかった。
- (3) アバウト過ぎて、最後に出た公約の意味が分からなかった。

問5 今後、どの様なテーマであれば、意見交換会に参加してみたいと思いますか、ご自由にお書きください。

- (1) 私たちが住む町に欲しい施設
- (2) 夢の実現と私たちの未来・将来の環境
- (3) シャッター街をよくするには
- (4) 栃木県の教育について
- (5) より良い学校にするために
- (6) 町の人口増加の案・予算運用を擬似的にやりたい
- (7) 若い人と高齢者の交流方法について

問6 模擬投票の説明を受け、実際に体験してみて理解はできましたか？印をつけ理由もあればお書きください。

項目	回答数	割合
とても理解できた	125	83%
だいたい理解できた	26	17%
理解しづらかった	0	0%
全く理解できなかった	0	0%
その他	0	0%

○「とても理解できた」、「だいたい理解できた」の理由

- (1) 聞くだけではなく実際にさせてもらえたから。
- (2) 話を聞くことはあっても、実際にやることはなかったから、できて面白かった。
- (3) 動画などで投票の歴史を良く学ぶことができたから。
- (4) 市議会について、だいたい理解できた。

問7 グループ公約（マニフェスト）を作成してみて感じたことを、ご自由にお書きください。

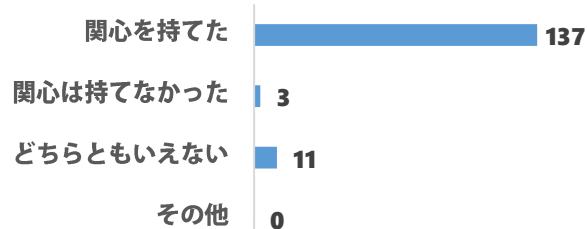
- (1) どの様にすれば他の人の目を引くことができるかを考えるのが楽しかったです。
- (2) 他のグループの意見も知れたので良かった。
- (3) 投票する人が何を求めているかを考えた。
- (4) 具体的、かつまとまった公約が人の目を引きつけると思った。
- (5) 印象に残るものを考えるのは大変だと思った。
- (6) 公約の大切さが良く分かった。
- (7) 改めて文字にすると、色々な改善点が見えてくる。

問8 今回の選挙（投票）の結果を受けての感想をご自由にお書きください。

- (1) 発表の仕方で決まるのだなと思った。
- (2) 話し方で人の心を掴める。
- (3) 良い意見でもインパクトの強い演説が勝つと分かった。
- (4) 全員に発表する時は、ハキハキした声で気持ちを伝えることが重要だった。
- (5) 選挙の流れを理解でき、良い体験だった。
- (6) 意欲が伝わるかで結果を左右するんだなと感じました。
- (7) 印象に残るように、たくさん工夫しなければならないことが分かった。

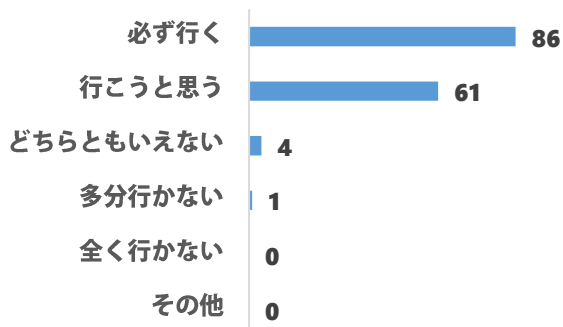
問9 今回の意見交換会や主権者教育を受けてみて、市議会や選挙について関心を持てましたか？印をつけてください。

項目	回答数	割合
関心を持てた	137	91%
関心は持てなかった	3	2%
どちらともいえない	11	7%
その他	0	0%



問10 18歳になったら選挙(投票)へ行こうと思いますか？印をつけ、理由もあればお書きください。

項目	回答数	割合
必ず行く	86	57%
行こうと思う	61	40%
どちらともいえない	4	3%
多分行かない	1	1%
全く行かない	0	0%
その他	0	0%



○「必ず行く」、「行こうと思う」の理由

- (1) 自分の将来に関わることだから。
- (2) 選挙の大切さが分かったから。
- (3) 投票をして社会を変えたい。
- (4) 一票が重要なものになることを知ったから。
- (5) 自分たちの社会は自分たちが決めることだから。

○「どちらともいえない」の理由

- (1) まだわからないことが多いから。
- (2) 18歳になってみないと分からない。

○「多分行かない」の理由は記載なし

問 1 1 その他、市議会へご意見等があれば、ご自由にお書きください。

- (1) これからもこのような活動を続けて欲しい。
- (2) これからも市の発展のために最善を尽くして欲しい。
- (3) 私たちに必要な知識を教えてください、尊重して頂けて良かったです。
- (4) 那須塩原市民のために今後もお願いします。
- (5) 今回の意見を是非実行して頂きたいです。
- (6) 学校がボロボロなのはどうにもなりませんか。
- (7) 接しやすく、とても話しやすい空間でした。ありがとうございました。

